

令和４年度第４回岡山県環境審議会大気部会 議事概要

(開催要領)

１ 開催日時：令和５年２月２２日（水） １０：００～１０：４５

２ 場 所：オンライン会議（Zoom会議）

３ 出席者：

委員（五十音順。敬称略）

有元佐賀恵、勝山博信、黒宮亜希子、末石芳巳、高橋正徳／計５名

事務局（県）

環境管理課長、環境管理課副課長、総括主幹（大気保全班長）、事務局職員
／計４名

議 題	
諮問事項	新幹線鉄道騒音に係る環境基準の類型をあてはめる地域の見直しについて
会議資料	別添資料のとおり
概 要	
事務局説明 (諮問事項)	(大気保全班長が資料に基づき説明)
-委員意見等-	
委 員	新幹線鉄道騒音の環境基準を達成した地点は、年に１～２地点と少ないが、現時点で防音壁などの対策は行っていないのか。
事務局	毎年、県から鉄道事業者に対して、新幹線鉄道騒音の対策を要請し、鉄道事業者から対策の実施状況の報告を受けている。具体的には、防音壁の改良や新設などを実施しており、新幹線鉄道騒音の測定地点でも、防音壁などは設置されている。
委 員	今後、さらに騒音を無くすため、どのような対策を行えばよいのか分かっているのか。
事務局	騒音を無くすことはなかなか難しい部分があるが、鉄道事業者は防音壁の設置や、新幹線が走行するレールに凹凸があると騒音が大きくなるため、レール削正も行っている。県内の沿線は、往復で180km程度であるが、多い年では全体の半分の90km程度を削正している。これら対策を適正に実施してもらうことのほか、今後、新幹線の車両自体の改良が進んでいけば、騒音が低減していくと考える。

委 員	新幹線沿線を衛星写真で確認しているとのことだが、衛星写真は何を使用しているのか。
事務局	衛星写真は、国土地理院が公開しているものを使用している。基本的には、委託事業者によって確認しているが、新たに類型をあてはめない地域等は、グーグルアースなどを活用して、県でも確認している。 なお、衛星写真以外に、関係市町にも照会を行い、現状を確認している。
委 員	おかやま全県統合型GISで、資料を公開することはいいことだと思う。
委 員	現状の環境基準のあてはめ地域内の居住者から、苦情の申出があったことはあるのか。
事務局	県に、苦情があったことはほとんどない。騒音に関する事務は、基本的には沿線市町が所管しているため直接市町に苦情があったかもしれないが、沿線市町から県に対して、新幹線鉄道騒音の苦情に対する技術的な相談もほとんどない。 なお、県では把握していないが、鉄道事業者へ直接、苦情を申し出る場合もあると思われる。